

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	救急医療対策事業	シート番号			A 一般事務事業
担当部署名	健康福祉 局	健康 部	健康医療推進 課	評価責任者(課長名)	河盛

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	市民の命を守る健康・医療体制の強化	無
	2	事業開始年度	昭和 47 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市救急医療対策事業運営費補助金交付要綱			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	休日等の初期救急医療を確保するため、昭和47年4月に堺市北部休日診療センター(宿院急病診療センター)を開設し、内科、小児科を標榜。平成元年9月には、初期救急医療を管理運営するための(公財)堺市救急医療事業団を設立。同年11月に堺市泉北急病診療センターを開設。順次、小児科の診療時間を延長し、翌朝5時までの診療とする。その後、平成27年7月の堺市立総合医療センターの移転に合わせ、堺市こども急病診療センターを併設。宿院急病診療センターを廃院し、堺市泉北急病診療センターに内科を集約した。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input checked="" type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()		
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	休日・夜間等の医療機能が低下する時間帯の急病患者の診療及び入院治療等が必要な重傷緊急患者の受け入れ		
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	休日・夜間等の救急医療体制の確保等により地域の救急医療体制を確立し、地域住民の生命の安全の確保及び健康保持増進に寄与すること。		
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	<ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人堺市救急医療事業団、二次救急医療機関及び一般社団法人堺市歯科医師会に対する救急医療対策事業等にかかる経費の補助による地域救急医療体制の確立 ・二次救急医療機関との連携強化 ・大阪府と大阪市との共同事業としての周産期医療体制確保 ・適正受診に向けた啓発活動 		
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()			
		公益財団法人堺市救急医療事業団ほか			

Ⅲ. 投入量

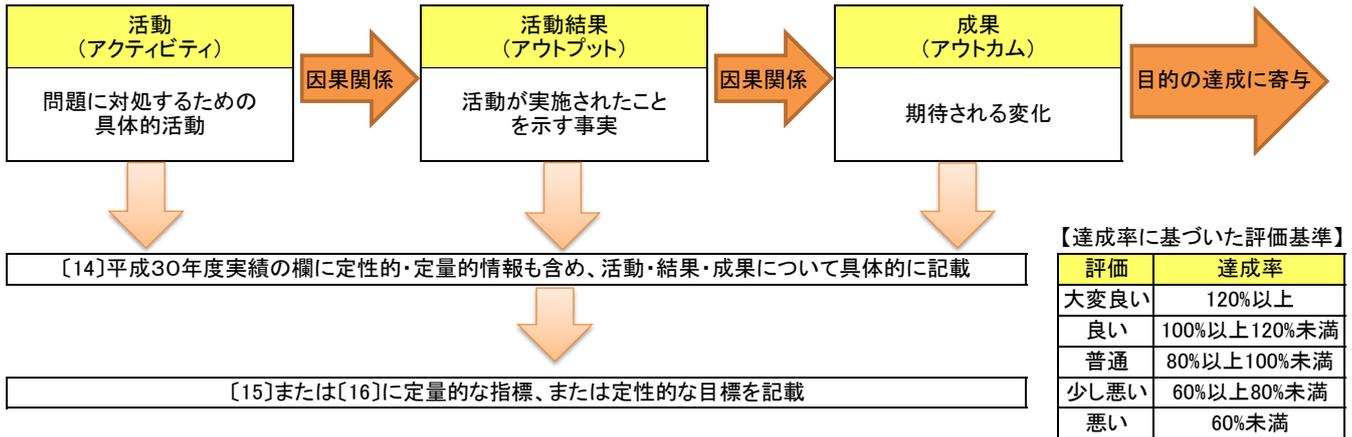
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算
11 事業費 (a)	千円	279,797	336,577	301,923	247,236
主な事業費内訳	報償費	千円	69	0	0
	役員費	千円	74	79	76
	負担金・補助及び交付金	千円	263,426	268,212	295,524
		千円			
	国・府支出金	千円	16,799	16,798	16,827
	財源内訳	千円			
受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
市債	千円	0	43,100	0	
その他(土地・建物貸付収入等)	千円	35,833	36,236	36,558	
一般財源	千円	227,165	240,443	248,538	
12 人件費 (b)	千円	2,460	6,560	6,560	6,480
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	282,257	343,137	308,483	253,716

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	救急医療対策事業	シート番号	11-173
-------	----------	-------	--------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	<p>平成30年度は、堺市救急医療事業団、市内救急告示病院及び堺市歯科医師会が実施する救急医療、大阪府が実施する周産期医療体制整備に要する経費の一部について補助(負担)を行った。その結果、下記に記載する救急患者への対応が円滑に行われ、市民の生命と健康の維持増進につながった。</p> <p><平成30年度 救急医療の取組> 初期救急については、救急医療事業団が運営するこども急病診療センターにおいて年間を通じた小児科の診療を行い、平成30年度は27,140人を診察。泉北急病診療センターでは、土曜、日曜、祝日及び年末年始に内科の診療を行い、5,888人の診察を行った。二次救急については、補助金を交付する21病院において、小児科を含む11診療科(小児科・内科・外科・整形外科・脳神経外科・産婦人科・消化器内科・循環器内科・呼吸器内科・神経内科・心臓血管外科)で入院、外来合わせ93,134人の診察及び治療を行った。また、歯科は口腔保健センターにおいて土曜、日曜、祝日及び年末年始の診療を行い、813人の治療を行った。その他、大阪府、大阪市との共同事業として※大阪府周産期医療体制整備事業の実施、適正受診に向けたリーフレットの作成・配布による啓発を行っている。</p> <p>※大阪府周産期医療体制整備事業 1. 周産期緊急医療体制整備事業 24時間受け入れ可能な病院の確保や患者の搬送体制、情報システムの充実 2. 産婦人科救急搬送体制確保事業 夜間休日に府内を3つの区分に分け、実施日ごとに受け入れ担当病院を決定する当番制により受け入れ医療機関を確保する体制整備 3. 大阪府周産期緊急医療体制整備事業補助金交付要綱に記載する事業 NMCS(新生児診療相互援助システム)・OGCS(産婦人科診療相互援助システム)の事務費及び参加施設への補助</p>							
	14	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		初期救急受診者数(こども急病診療センター・泉北急病診療センター)	人	目標値	-	-	-	-
			実績値	32,413	33,565	33,028	-	
			達成率	-	-	-	-	
	算出方法・設定根拠など		休日夜間に診療を要する患者のための事業であり、目標値、達成率は記載できない。					
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		二次救急受診者数	人	目標値	-	-	-	
			実績値	90,091	101,330	93,134	-	
			達成率	-	-	-	-	
	算出方法・設定根拠など		休日夜間に診療を要する患者のための事業であり、目標値、達成率は記載できない。					

業績の分析

17	<p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>休日・夜間など医療機関が診療していない時間帯に診察、治療を行う医療機関の運営及び助成を行う事業であり、市民の命と健康を守るために必須の事業である。1日当たりの受診者数(H30実績)は初期救急で90人、二次救急で255人と事業のニーズ、有効性は非常に高い。</p>
----	---

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。